

活動実績報告書

平成29年12月11日

登録番号20170493

氏 名 益子 好恵

1. 活動状況

○民国連携ケーススタディ地区(鹿沼市)の取り組み

実施期間 平成28年4月 ～ 継続中

・ 活動の概要

栃木県県西環境森林事務所の森林計画担当者と連携して、同県鹿沼市の森林整備計画作成から実行監理の支援。

・ 当該活動を挙げた理由

国有林のフォレスター活動を推進するための取り組みである。

・ 当該活動における、立場と役割

立場: 民国連携のフォレスター活動を推進していく者として、署の森林技術指導官。

役割: 栃木県・県西環境森林事務所の職員へ取り組みについての説明、連携して取り組んでいくことの確認・了解。取り組み開始後は国有林野事業の蓄積してきた技術等を基にした森林の管理経営的側面からの支援・助言等。

・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

課題 ①関係者の信頼関係づくり

対策 鹿沼市、県職員、国有林職員の相互信頼関係づくりのため顔合わせを兼ねた打ち合わせ会議開催。

課題 ②鹿沼市内の事業体の作業システムの把握・国有林事業地の作業システム等の民有林関係者への情報提供。

対策 現状把握のため民有林事業地の視察、現地での意見交換会の実施。
国有林事業地の視察研修と意見交換会の実施。

・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

○課題: ①国有林と民有林事業体との信頼関係が薄い。

②全ての事業体が木材生産事業拡大に積極的では無いこと。

○今後の改善方策

高性能林業機械を導入し、積極的な事業展開をしている事業体と、小規模事業体が参加した情報交換会等を企画し、事業体・鹿沼市・栃木県・国が協調しながら鹿沼市の森林・林業・林産業の発展に向けた活動をしていきたい。

注1: 1. 活動状況については、直近の過去5年間に、森林総合監理士としての活動に関連していると考えられる、又は森林総合監理士として取り組んだ具体的な活動内容を記載してください。

2. 研修の受講状況

研修名 森林総合監理士育成研修事業 技術者育成研修 平成27年8月
(実施主体) 林野庁

研修名 森林総合監理育成研修事業 実践研修(現地検討) 平成27年10月
(実施主体) 林野庁

研修名 森林総合監理士(木材安定供給:流通編)研修 平成27年10月
(実施主体) 林野庁

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

(1) 栃木県森林施業プランナー育成基礎研修講師

森林施業プランナー育成基礎研修において、民国連携共同施業団地や公益的機能維持増進協定、国有林の獣害対策などについて講義。

(平成27年7月、平成28年7月、平成29年8月)

(2) 平成27年度森林総合監理士(フォレスター)等のフォローアップ現地検討会

関東森林管理局主催の現地検討会に参加し、ヒノキ一斉大面積造林地における新たな施業方法の取り組みや獣害対策等について現地検討会に参加し自己研鑽。

(平成28年3月)

(3) 平成28年度森林総合監理士(フォレスター)等のフォローアップ現地検討会

人工林再造林地における低密度植栽や下刈り回数の省略など低コスト林業に向けた事業実施箇所での現地検討会に参加し自己研鑽(平成28年12月)

(4) 低密度植栽箇所現地検討会へ参加

スギ苗木をhaあたり600本、800本、1200本植栽後20年経過した事業地での現地検討会に参加し植栽本数のあり方について参加者と現地検討。今後の新植時の植栽本数のあり方について意見交換等行い自己研鑽。

(5) 平成29年度 主伐～再造林一貫施業現地検討会実施

主伐～再造林の一貫施業事業地に於いて現地検討会を行い、林業の低コスト化に向けた発注及び事業実施について関係機関、民有林関係者等へ情報発信と現地での意見交換を実施。(平成29年10月)

注2: 2. 研修の受講状況、及び3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況については、直近の過去5年間に取り組んだ具体的な内容と時期を記載してください。

注3: 活動実績報告書は、A4で全2枚としてください。

注4: この活動実績報告書は、このままPDF化して林野庁ホームページに掲載しますので、見やすさ読みやすさ、個人の特定等、公開に差し障りのある表現にもご配慮ください。